

平成 24 年度 第 2 回長野市歴史的風致維持向上協議会記録（概要）

日時 平成24年11月14日（水）

午後 3 時～午後 4 時30分

場所 第一庁舎 8 階 第二委員会室

出席委員 14名（1名欠席 土本委員）

赤羽委員、牛山委員、加藤委員、小林委員、笹澤委員、宮下委員、
若麻績委員、中島委員、中村委員、極意委員、阿部委員、伊藤委員、
原田委員、三井委員

1 開 会

定足数の確認

2 挨拶

3 協議事項

(1) 長野市歴史的風致維持向上計画の策定について

・事務局	第1回協議会以降の計画策定の経緯について説明
〔善光寺・戸隠区域〕	
・事務局	資料に基づき説明
・質 問	戸隠山の修験場は、重点区域に含めないのか。 また、それが重要文化財の史跡に指定されたら含まれるのか。
・回 答	戸隠山の修験場は歴史的風致としての条件は満たしているが、重点的に事業を行うため、特に重要な地域に絞り込んだ。 修験場が史跡に指定された時点で、重点区域の変更について検討したい。
・質 問	歴史的建造物周辺の一般の住宅及び店舗などについて、景観計画や屋外広告物条例などにより、より良い景観形成の誘導を検討しているのか。
・回 答	現在、景観計画の建造物の高さ規制や景観計画推進地区などにより、誘導している。また、大規模な建築行為の制限を市内全域で行っている。計画策定の時点で、重点地域と同じ範囲を対象として景観誘導することは考えていないが、今後検討していく。
・質 問	歴史的風致維持向上に資する事業で、まちなみの整備、電線の地中化などハード面の説明があったが、ソフト面についてどのように考えているのか。
・回 答	今後、ソフト面とハード面の両方の事業について協議・検討を進め、次回示していく。

・意見	戸隠の中社は非常に標高が高かく 1,200mもある。昔は、沢の水を汲んでいたが、命がけの作業により昭和 7 年に上水道を引き、きれいな水が飲めるようになった。過疎化にはなっているが、そういったこともあり、歯止めがかかっている。先千年も前から、食べ物もろくに出来ない標高の高いところに村があるというのは不思議がある。その辺を研究していただければ面白い。
〔松代・若穂川田区域〕	
・事務局	資料に基づき説明
・質問	重点区域に若穂川田区域が含まれているが、若穂保科地区も歴史的に重要な地域で文化財も多数あるので、追加することが出来ないか。
・回答	基本的には、現時点で確定をするわけではなく、資料的に歴史的風致を形成する建物等営みが認定され、かつ松代地区の重要文化財、国の指定文化財とのつながりがあれば、含めることは可能。
・質問	まちづくりの推進、文化財の保護、そして観光の取組みが重要ではないのか。
・回答	今回の歴史を活かしたまちづくりというのは、それを活かして観光客を増やし、より広い範囲で街中の回遊してもらうために進めることが本来の趣旨であり、観光面について市内連携し計画を策定している。歴史的風致を継承して、それをどういう風にまちづくりに活かしていくのか、そのためには、観光関係は重要となる。
・意見	これまで市では、文化財に莫大なお金をかけ整備をしてきたが、それを生活や観光、中心市街地のにぎわいに活かしてきれていないことが課題である。
・意見	泉水路に流れる水が不足し、泉水路や池が潰されて来ていることにより、本来の機能や歴史的風致が失われている。これに対する対策を計画的に実施してほしい。
〔鬼無里区域〕	
・事務局	資料に基づき説明
・意見	諏訪神社の建っている場所は縄文前期の遺跡が発見された歴史の刻まれた場所。これを発見したのは、鬼無里中学校の生徒で、当時は郷土研究班がありかなり鬼無里を調査してくれた。このようなことは、これからも大事にしたい。
〔全体〕	
・意見	185 頁に伝統的いとなみの継承は 4 行ぐらいしかない。「広報・マスメディア等を通じて伝統的いとなみの継承を積極的にしていく」とあるが、これが出来たら苦労はしない。お祭を継続していく皆さんが段々高齢化でいなくなっている。そういう面も行政と一緒にカバーしていくようなことを、この事業を契機にやっていくことができれば、よりこの事業の効果が出るのではないかと。難しいがそういう視点を大きく書いて進めていただければ

ありがたい。

4 その他

次回の協議会の日程等について

- ・平成 25 年 2 月 13 日午後 1 時 30 分から開催予定。

5 閉 会

まちづくり推進課 轟課長